



2021年11月10日

各 位

会社名 株式会社ミライノベート
 代表者名 代表取締役社長 泉 信彦
 (コード: 3528 東証第2部)
 問合せ先 経営管理本部長 竹谷 治郎
 (TEL: 03-3470-8411)

2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異、
 通期業績予想の修正及び配当予想に関するお知らせ

2021年5月12日に公表しました2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2022年3月期通期業績予想の修正及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,971	百万円 △165	百万円 △164	百万円 181	円 銭 3.64
実績値(B)	3,833	374	540	1,097	22.03
増減額(B-A)	861	539	704	915	—
増減率(%)	29.0	—	—	504.5	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期第2四半期)	2,931	△606	△669	△2,829	△62.53

2. 通期業績予想の修正

2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,328	百万円 105	百万円 96	百万円 338	円 銭 6.80
今回修正予想(B)	7,701	177	231	821	16.49
増減額(B-A)	△627	71	134	482	—
増減率(%)	△7.5	67.2	139.2	142.4	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	10,510	△395	△586	55	0.12

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期の連結業績につきましては、売上高において、マンション分譲や注文住宅、土地販売等の不動産事業における契約、引渡しが好調に推移するとともに、太陽光発電による売電収入が期初の予想を上回りました。また6月に売却した稼働済み太陽光発電所において、譲渡後の運営に関連したコンサルティング料等を計上したことにより前回予想を上回りました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益においては、販売費及び一般管理費に大きな差異はなかったものの、上記の売上高の増収に加え、太陽光発電事業における出資案件において期初予想を上回る投資利益を計上するとともに、グループ内の資金融通を積極活用することにより借入金利息等の金融費用を削減し、また保有有価証券の売却益を計上する等により前回予想を上回ることとなりました。

また、通期の業績予想につきましては、不動産事業における期初の予想において計画しておりました、収益不動産及びアパート建設用地並びに販売用宅地等の仕入に関して高利益率の物件に厳選した結果、当期売上計上予定の物件数が減少したため、627百万円の減収を予想しておりますが、既存の完成在庫の利益率の改善並びに販売費及び一般管理費の削減等が見込まれることから、営業利益等に関しては前回予想よりも増益となる見込みであり、上記の通り修正いたします。

4. 配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回発表予想	—	—	—	3.00	3.00
当期実績	—	—			
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	—	—	—	0.00	0.00

5. 配当予想の理由について

当社は、剰余金の配当につきましては、安定的な配当を基本としたうえで、業績の状況及び財務状況等を総合的に勘案し実施することを基本方針としております。未定としておりました2022年3月期の配当につきましては、通期業績予想及び現在の財務状況等を勘案し、期末配当金を1株当たり3円00銭とする予定です。これにより2022年3月期の年間配当金は、1株当たり3円00銭となる見込みです。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上